

■ 社名/業種

inaho株式会社/農業

分野は、地域未来構想20の政策分野から1つ以上選択してください。

地方公共団体、地域の活動主体等との関係性・役割分担も含め記入してください。

■ 対象地域

九州/関東/四国(全国)

対応可能な地域(圏域単位)を記入してください。

地域未来構想20におけるビジネスの座組

■ 上記政策分野における貴社の提供サービス・ノウハウ

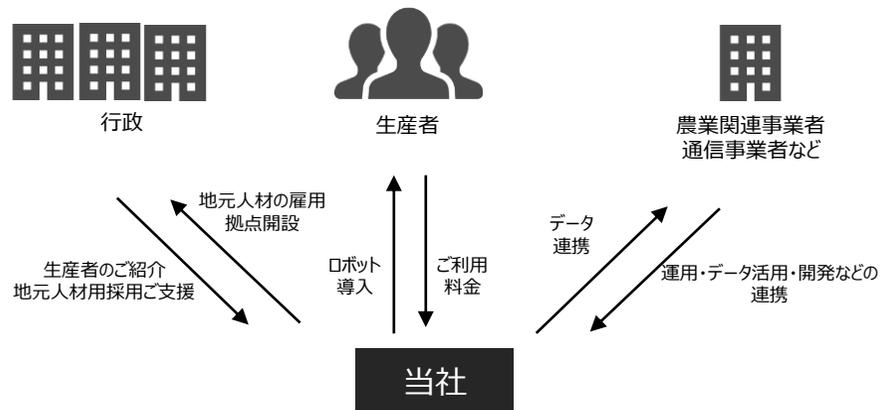
RaaSモデルによる自動野菜収穫ロボットを中心とした生産者向けサービスを提供しています。ロボットを農家へ貸出し、収穫高に応じて利用料をいただくビジネスモデル「RaaS(Robot as a Service)」。収穫を代表する人の判断が必要な農作業を「AI」と「ロボティクス」でサポートします。

■ 上記サービス・ノウハウを活用した実績(特に地方公共団体との連携実績)

- ・佐賀市、鹿島市と進出協定を締結し、両市内に拠点を開設
- ・拠点周辺の生産者にアスパラガス自動収穫ロボットを導入
- ・農研機構が行う実証事業「労働力不足の解消に向けたスマート農業実証」において、inahoが代表機関、佐賀県が共同実証機関として採択され、収穫作業の省力化及び自動化を実施

■ 連携することが想定される分野(複数分野を選択している場合は、分野間の連携方法)

<リビングシフト> <地域経済の可視化>



上記の座組に限らず、農業における人手不足と経営課題の解決を目的に事業を推進しています。ご興味がある方はお気軽にご連絡ください。

■ 上記サービス・ノウハウにより実現できること(想定される効果、解決することが期待される地域課題等)

① 農業を持続可能な産業へ

経験が必要とされた「収穫適期の判断」と人手不足が課題になっている「収穫作業」をロボットが行うことで、栽培面積の拡大を可能にし、農業を持続可能な産業とします。

② 働きがいある人間らしい仕事の創出へ

人がやらなくて良いことはロボットで代替することで、野菜がより美味しくなるような研究開発や販路開拓など、人がやるべきこと・やりたいことに時間を使うことを可能にします。

■ 地域未来構想20の実現を目指す自治体へのメッセージやPR等

初期費用・メンテナンス費用ゼロ円のRaaSモデルで自動野菜収穫ロボットを農家さんにお貸出ししています。人手不足が深刻な農業を持続可能な産業にするために、ロボットの量産と対応作物の拡大を進めています。ご興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。